

SFJ JOURNAL

Securitization Forum of Japan

Vol.21

流動化・証券化協議会会報誌「SFJ ジャーナル」

August 2020

CONTENTS

SFJ Report

- 証券化の意義と危機時における利用可能性 01
有吉 尚哉(西村あさひ法律事務所 弁護士)
- 一般法人法の改正と証券化実務への影響 07
藤瀬 裕司(島田法律事務所 弁護士)
- 「適格STC」扱いが可能なRMBSの組成を振り返る
－ 透明性が高く将来の市場流動性を確保する証券化市場を目指して－ 14
安井 芳浩(東海労働金庫 執行役員 総合企画部長)
大塚 康成(合同会社祐 代表社員)
- 資本市場法の形成プロセスへの利害関係者の参加
－ OECD 評価及び米国との対比を契機として－ 22
渡邊 健樹(ニュー・ヨーク州弁護士、コロンビア大学ロースクール客員研究員(執筆時))

市場動向

- 日本における証券化市場の最近の動向 33
宮坂 知宏(SMBC日興証券株式会社 金融経済調査部 チーフ証券化アナリスト)
- コロナ禍におけるオーストラリアのRMBS市場 40
宮坂 知宏(SMBC日興証券株式会社 金融経済調査部 チーフ証券化アナリスト)

統計調査

- 「ABCP/ABL 統計調査」集計結果～四半期調査:2020年3月末分～ 45

INFORMATION

- 1 講座・セミナーの開催状況 50